施工説明書

TOTO

幼児用手すり

YYB10型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

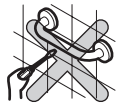
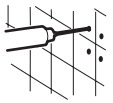
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

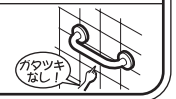
	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

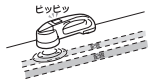
分解禁止	**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない** 故障の原因になります。	
必ず実行	**必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける** 土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをする原因になります。	
	浴室などの水まわりに使用される際は、取り付ける穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布する シーリング剤を塗布しないと、壁裏へ水が浸入し、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをする原因になります。	
	必ず当社指定の固定金具を使用する 当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをする原因になります。	

1-2

⚠ 警　告

必ず実行	**各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する** 下地に十分な厚み・補強がないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをする原因になります。	
	取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをする原因になります。	

⚠ 注　意

必ず実行	**配管、配線の位置を確認して施工する** 水漏れなどにより財産損害発生のおそれがあります。	

2 取り付け前に

取り付け前の注意

●手すりを取り付ける壁に**十分な強度がある**ことを確認してください。

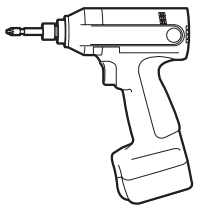
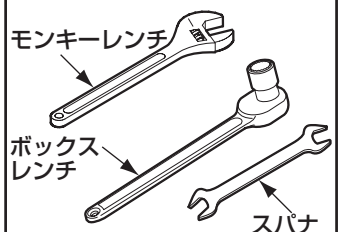
●腰掛便器用手すり(ぞう)は屋外や浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けないでください。部品の腐食のため手すりが折れやすくなり、けがをするおそれがあります。

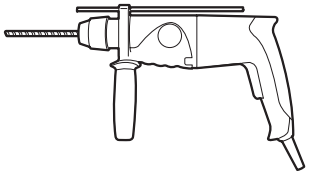
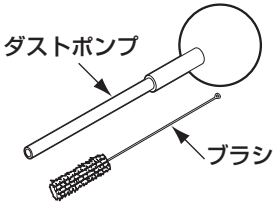
●**手すりは屋外や水没する場所には取り付けない**でください。
変色や変形のおそれがあります。

●光電センサー付き商品と手すりを組み合わせる場合には、**センサーが手すりを感知しない**ように取り付けてください。
なお、光電センサー付き商品と手すり取付位置は光電センサー付き商品の説明書または設計施工資料集などを参照してください。

●取付方法は**建物の構造に応じて適切な方法を選んで**ください。
なお、手すりは、手すり本体と壁(床)の固定金具が別々の品番になっていますので、壁の構造に応じて別途固定金具をご注文ください。
固定金具必要セット数は「 4 固定金具(別売品)」を参照してください。
※掲載以外の取付方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。

3 必要工具(現場手配)

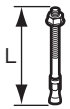
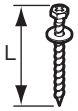
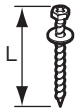
電動ドライバー	六角棒レンチ	スパナ、モンキーレンチ、ボックスレンチ
	 腰掛便器用手すり(ぞう)の組み立てに使用します。	

コンクリートドリル	ダストポンプ、ブラシ
 コンクリートの穴あけに使用します。	 コンクリート穴あけ後の清掃に使用します。

上記以外にメジャー、プラスドライバーなどの工具があると便利です。

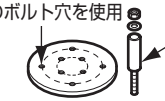
4-1 固定金具(別売品)

〈固定金具一覧表〉

品　番	取付方法	形　状	セット内訳
T110D3R (L=85)	アンカーボルト		固定箇所：1カ所分 ・アンカーボルト/4本
T110D16 (L=50) T110D23 (L=30)	コーチねじ		固定箇所：1カ所分 ・コーチねじ/4本 ・座金/4個
T110D55 (L=50)	コーチねじ		固定箇所：1カ所分 ・コーチねじ/9本 ・座金/9個

4-2

〈固定金具一覧表〉

品　番	取付方法	形　状	セット内訳
T110D22R	はさみ込み金具 (厚さ40mm トイレブース後付け用)		固定箇所：1カ所分 ・取付プレート/1枚 ・ボルト・パイプ/各4個 ・座金・ナット/各4個
T110D26	樹脂プラグ		・樹脂プラグ/20個

〈固定金具・現場調達部品必要個数一覧表〉

注1 ： 対応可能なトイレブースは厚み40mm、ペーパーハニカム、メラミンもしくはポリエステル化粧合板仕様相当です。

注2 ： トイレブースの厚み30mm以上の場合のみ使用可能です。

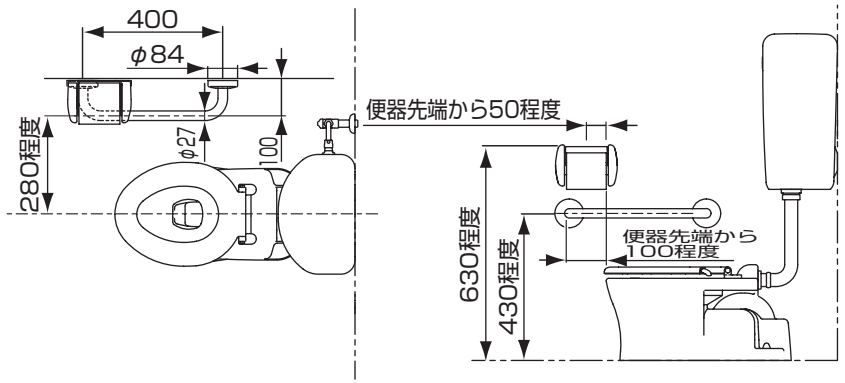
注3 ： T110D26(樹脂プラグ20個入り)はねじの本数に応じてご注文ください。
ねじの本数は多用途用手すりⅠ型の場合は8本、腰掛便器用手すり(ぞう)9本です。

注4 ： 固定箇所1カ所当たり、2個使用するため、1商品当たり4個必要です。

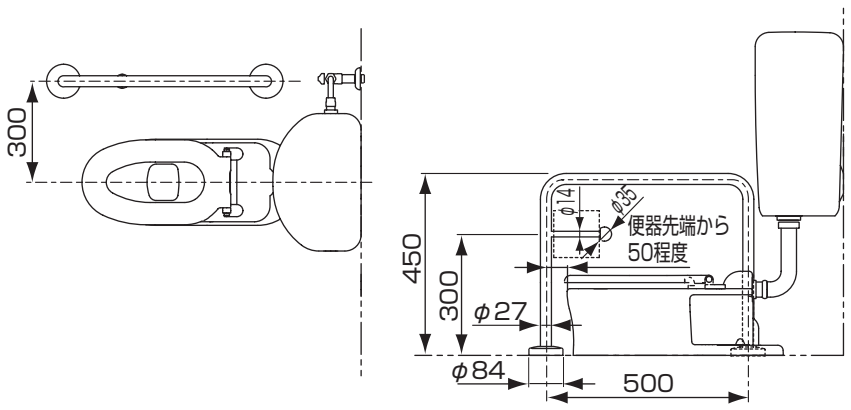
品名 / 下地(取付方法)	多用途用 手すり Ⅰ型	腰掛便器用 手すり	腰掛便器用 手すり(ぞう)
コンクリート下地 (アンカーボルト固定)	T110D3R×2	T110D3R×2	—
コンクリート下地 (プラグ固定)	T110D16×2、 T110D26 **注3**	—	T110D55×1、 T110D26 **注3**
木下地 (コーチねじ固定)	T110D16×2	T110D16×4 **注4**	T110D55×1
軽量鉄骨下地 (合板・コーチねじ固定)	T110D16×2	—	—
トイレブース (はさみ込み固定) **注1**	T110D22R×2	—	—
トイレブース (コーチねじ固定) **注2**	T110D23×2	—	—

5 完成図

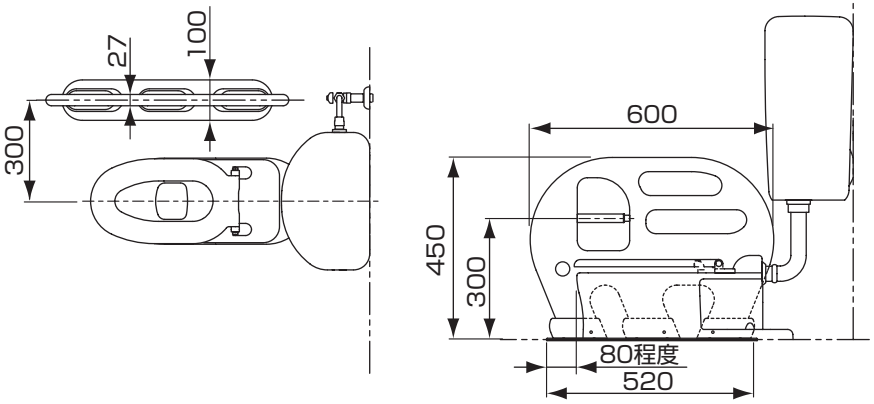
多用途用手すりI型



腰掛便器用手すり



腰掛便器用手すり(ぞう)

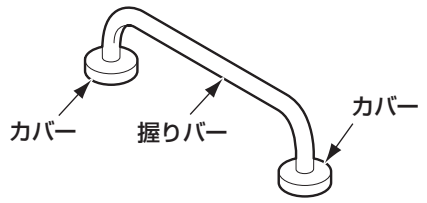


6 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

手すり本体部

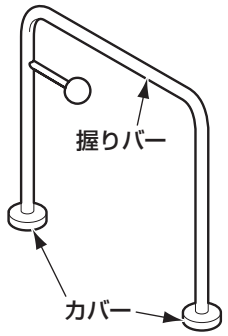
多用途用手すり I型 【YYB10】



施工説明書

取扱説明書

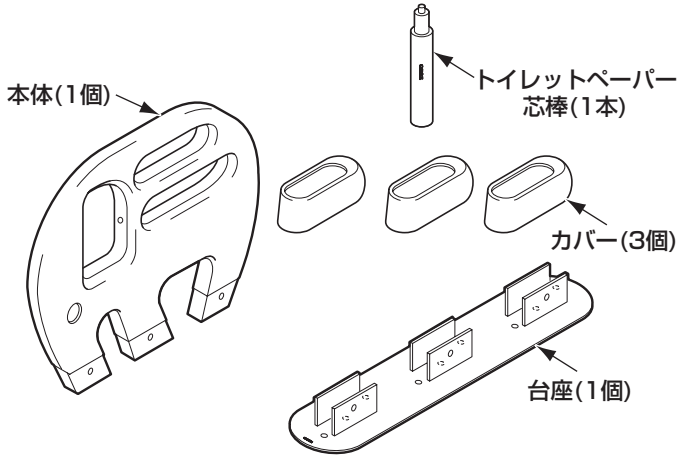
腰掛便器用手すり 【YYB10P1】



施工説明書

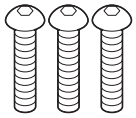
取扱説明書

腰掛便器用手すり(ぞう) 【YYB10P2R】



施工説明書

取扱説明書

ボルト	ばね座金	ナット	止めビス
			
3本	3枚	3個	6本

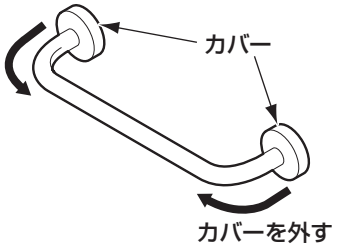
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

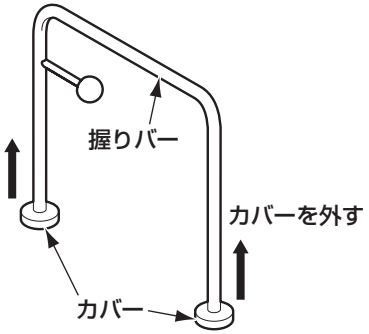
7 施工手順

多用途用手すり I型・腰掛便器用手すり

1. 手すりのカバーを外す

カバーが外しにくい場合は、カバーを回しながら外してください。





2. 位置決め

手すりの取付位置を決め、下穴をあける。
手すりの取付位置は「 5 完成図」を参照してください。
穴あけ方法は「 8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

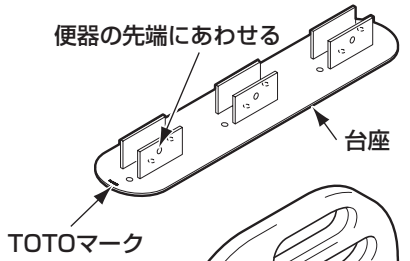
3. 取り付け

フランジを取付面にねじ止めする。取付方法は「 8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。

腰掛便器用手すり(ぞう)

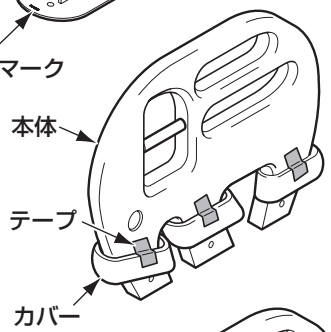
1. 位置決め(位置決めシートは裏面にあります。)

手すりの取付位置を決め、下穴をあける。
台座はTOTOマークを便器先端側にあわせてください。
手すりの取付位置は「 5 完成図」を参照してください。
穴あけ方法は「 8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。



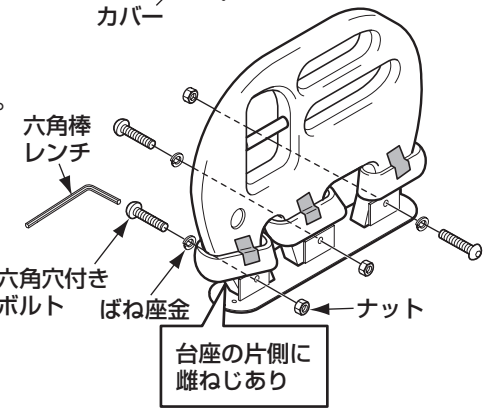
2. 台座の取り付け

台座を取付面にねじ止めする。
取付方法は「 8 手すりの取り付け」の各固定方法を参照してください。



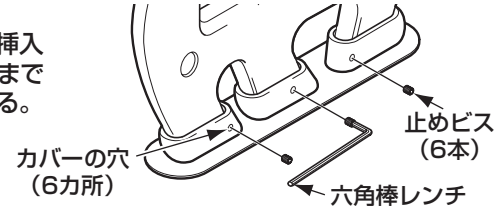
3. 本体の取り付け

①本体にカバー(3個)を挿入する。
※このとき、図のようにカバーをテープで本体に固定すると施工が容易になります。
②六角穴付ボルトにばね座金を通し、台座の側面からボルトを挿入し台座の雌ねじにナットを締め、六角棒レンチ(呼び径5)で台座と本体のすき間がなくなるまでしっかり締め付ける。
③ナットを締め付ける。



4. カバーの取り付け

①カバーのテープを外し、台座に当たるまで下ろす。
②カバー側面(6カ所)の穴に止めビスを挿入し、六角棒レンチ(呼び径2)で当たるまで締め付け、さらに1/2回転増し締めする。



裏面へつづく

8-1 手すりの取り付け

コンクリート下地：アンカーボルト固定の場合

手すり品番	YYB10・YYB10P1
固定金具品番	T110D3R

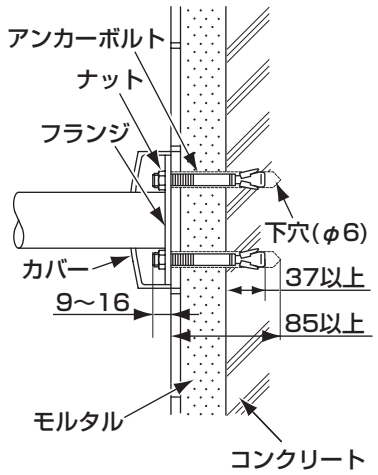
①心出しをしたあと、φ6mm、深さ85mmのアンカーボルトの下穴をあける。注1

②ナットをアンカーボルト上端より2mm程度ねじ込み、下穴に軽く打ち込む。注2

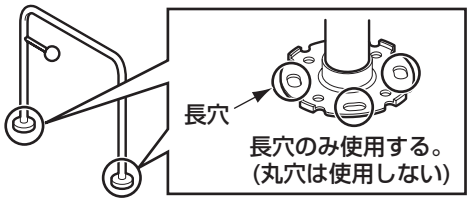
③アンカーボルトのナットを締め付ける。
(これにより、アンカーのクサビが開き、アンカーが抜けなくなります)

④ナットを外し、フランジの取付穴をアンカーボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。
アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より9～16mmの範囲となるように調整してください。

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



＜腰掛便器用手すりの場合＞



注 意

注1：コンクリートにφ6mm、深さ85mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：アンカーボルトのコンクリートへの埋込代は37mm以上となるようにしてください。37mm未満では手すりが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

コンクリート下地：プラグ固定の場合

手すり品番	YYB10・YYB10P2R
固定金具品番	T110D16、T110D26、T110D55

注 意

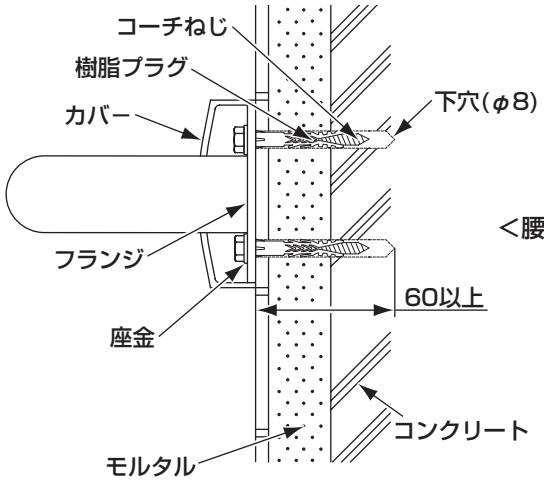
プラグ固定の場合は、多用途用手すり I型、腰掛便器用手すり(ぞう)のみ取り付け可能です。

①心出しをしたあと、φ8mm、深さ60mmの樹脂プラグの下穴をあける。注1

②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。

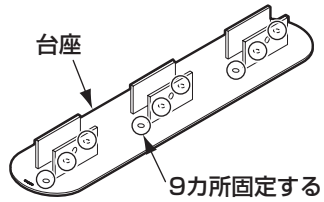
③コーチねじに座金を通し、フランジの取付穴より取り付ける。

④カバーを仕上げ面に押し付ける。



〈コーチねじ部分〉

＜腰掛便器用手すり(ぞう)の場合＞



注 意

注1：コンクリートにφ8mm、深さ60mm以上の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

8-2

木下地・トイレブース：コーチねじ固定の場合

手すり品番	YYB10・YYB10P1(木下地のみ)・YYB10P2R(木下地のみ)
固定金具品番	木下地　　：T110D16、T110D55 トイレブース：T110D23

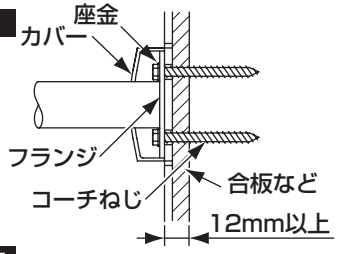
①事前に手すり取付部に合板を取り付ける。 注1

②心出ししたあと、φ4mmのコーチねじの下穴をあける。
（タイルの場合は、タイル部のみφ6.5mmの通し穴をあける）

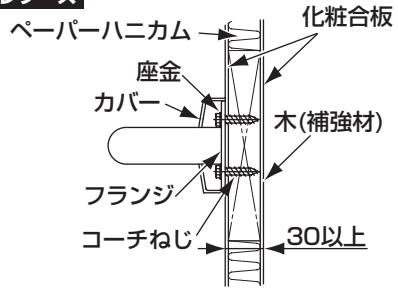
③コーチねじに座金を通し、フランジの取付穴より取り付ける。

④カバーを仕上げ面に押し付ける。

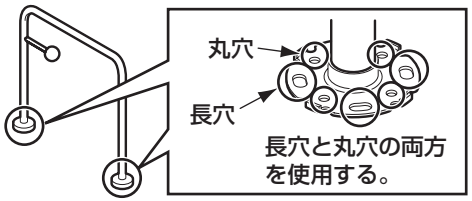
木下地



トイレブース



＜腰掛便器用手すりの場合＞



注 意

注1：12mm以上の合板にて補強を行ってください。

トイレブース：はさみ込み固定の場合

手すり品番	YYB10
固定金具品番	T110D22R

注 意

トイレブースは厚み40mmペーパーハニカム、メラミンおよびポリエステル合板仕様相当の場合、多用途用手すり I型のみ取り付け可能です。

8-3

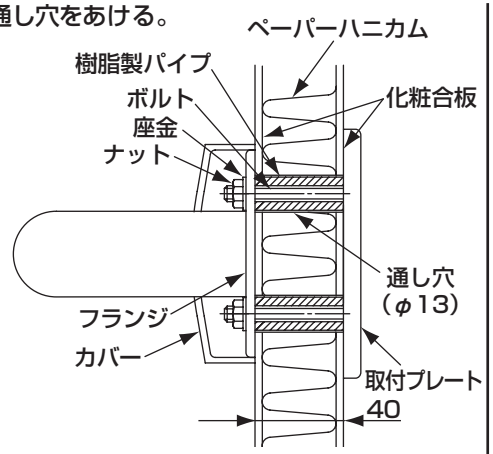
①心出しをしたあと、φ13mmのパイプの通し穴をあける。

②樹脂製パイプを通し穴に挿入する。 注1

③取付プレートの外側のボルト穴に接着剤を塗布し、長ねじボルトを最後までねじ込み、ブース裏側より樹脂製パイプの穴に差し込みながらあてる。
※取付プレートには外側と内側に4カ所ずつボルト穴があります。ボルト穴を確認して取り付けてください。

④フランジの取付穴をボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。 注2

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。



注 意

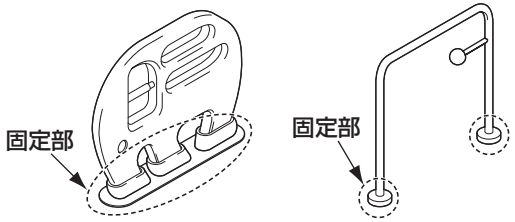
注1：多用途用手すり I型は、トイレブースに補強木を入れた場合、固定金具に同梱のパイプは使用せずに取り付けできます。

注2：長ねじボルトの穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

※他の施工方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。

9 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



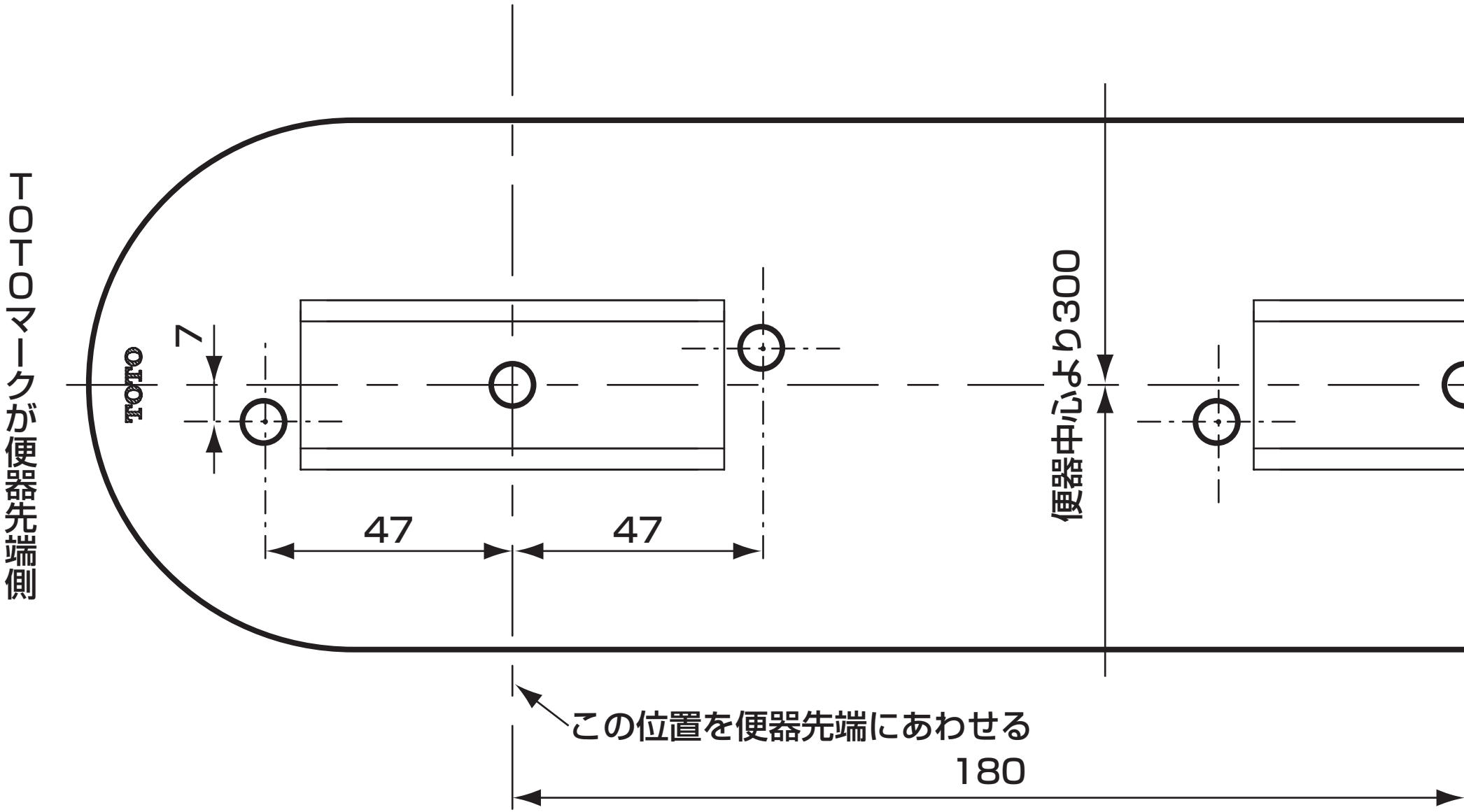
ガタツキの確認

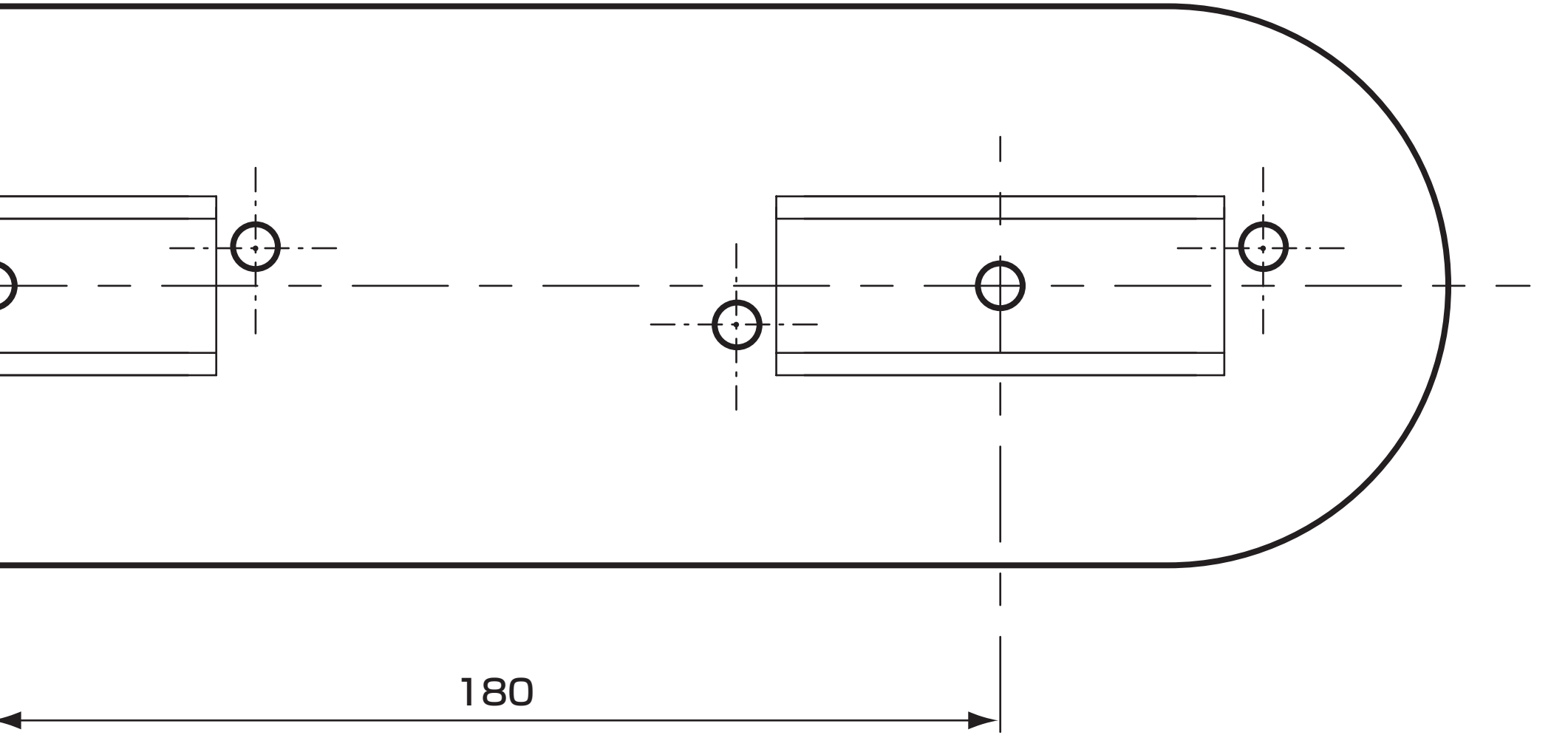
手すりにガタツキがないか確認してください。

手すりは壁または床にしっかり取り付けていますか？

8「手すりの取り付け」参照

位置決めシート





※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。